

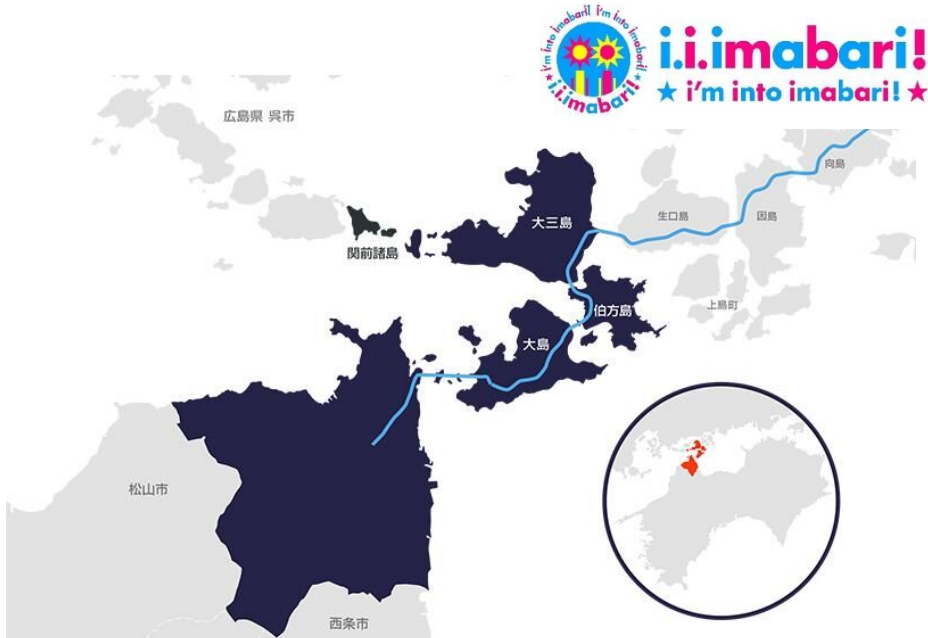
愛媛県における「空の移動革命」実現に向けた推進ネットワーク
令和4年度 第2回勉強会

今治市における「空飛ぶクルマ」 社会受容性向上の取組について

令和5年3月20日

今治市総合政策部企画防災政策局市民が真ん中課





愛媛県今治市

- しまなみ海道四国側の玄関口
- 四国5番目の人口規模
- タオルと海事産業とサイクリングのまち
- 住みたい田舎ベストランキング1位
- 日本文化遺産「村上海賊」
- 「FC今治」(祝・里山スタジアム完成)

人口：153,532人 (令和4年1月1日 住民基本台帳)

面積：419.14km² (令和元年年10月1日 国土地理院)



2023年版 第11回

「住みたい田舎」 ベストランキング

人口10万人以上20万人未満の
まちランキングにおいて

第1位
全4部門

- | | |
|------------|-----|
| 総合部門 | 第1位 |
| 若者世代・単身者部門 | 第1位 |
| 子育て世代部門 | 第1位 |
| シニア世代部門 | 第1位 |



○平成17年に旧今治市と周辺の11町村が合併

○市域の真ん中に瀬戸内海が横たわり「都市」「中山間地域」「島しょ部」など多様な地勢を有する。

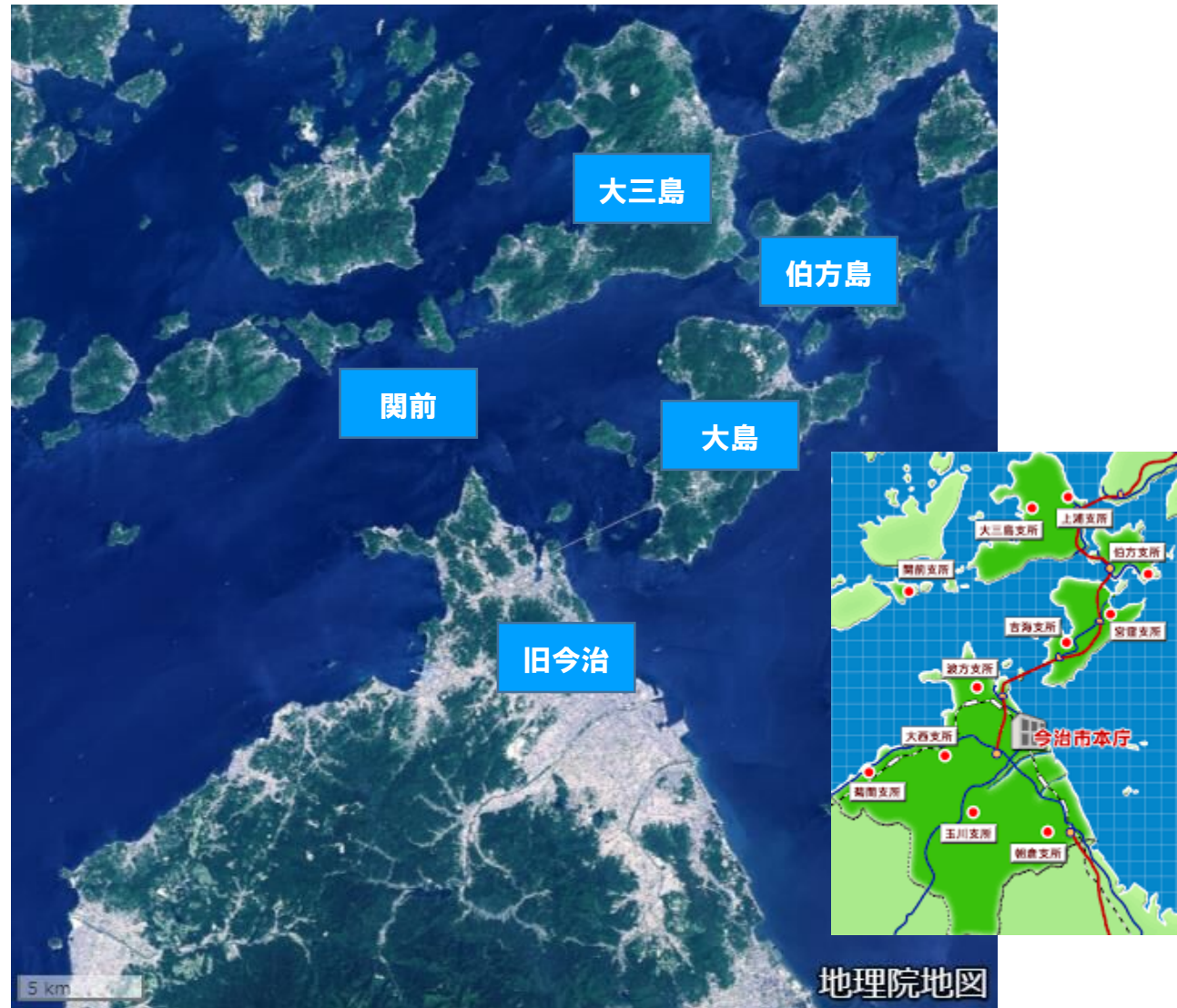
○市域の中心である「旧今治」地域への移動に、「大島」「伯方島」「大三島」からは有料道路、「関前」地域からは市営渡船を利用しなければならず、移動コストや災害、緊急時の対応が課題



- ・住民の移動コストを低減
- ・災害や緊急時の移動手段確保



解決手段の一つとして、
エアモビリティの活用を検討



○平成28年に四国唯一(令和4年12月現在)の国家戦略特区に指定

国家戦略特区とは？

○大胆な規制・制度改革を実行し、「世界で一番ビジネスがしやすい環境」を創出することを目的に創設された制度

○自治体や事業者が創意工夫を生かした取組を行う上で、障害となっている規制の特例措置や関連する諸制度の改革等を区域限定で実施するもの

○特区エリアでの活用実績に応じて全国展開



今治市の特区メニュー(令和4年9月現在)

- 1.外国人創業活動促進事業
- 2.創業者人材確保支援事業
- 3.特定非営利活動法人設立促進事業

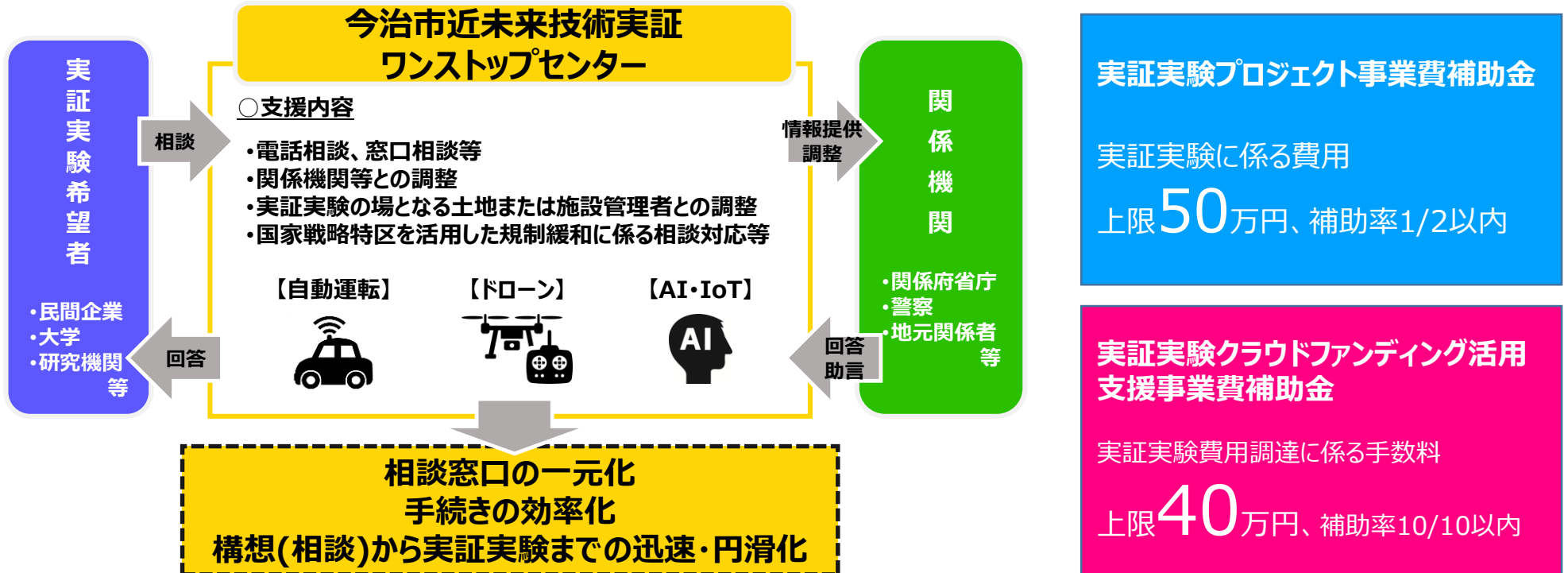
- 4.道の駅設置者民間拡大事業
- 5.獣医師の養成に係る大学設置事業
- 6.近未来技術実証ワンストップセンターの設置

近未来技術実証ワンストップセンターとは？

○先端技術を活用した社会課題の解決等を促進するため、「自動運転」「ドローン」「AI・IoT」分野の実証実験について、国(内閣府、警察庁、総務省、経済産業省、国土交通省)と共同でワンストップ支援を行う自治体の窓口

○今治市では令和3年4月にワンストップセンターを設置

令和3年度:相談実績15件 実証実験2件 令和4年度:相談実績22件 実証実験5件



物流・輸送



【R4.3月実施】
 調剤薬局「クオール(東京)」と物流ベンチャー「かもめや(高松)」が、ドローンによる離島への医薬品配送の実証実験を今治市内で実施
 模擬の薬を入れたGPS機能付きのボックスをドローンで今治市小浦町から海を挟んで約600メートル離れた来島まで配送。加えて、薬を受け取った患者役の島民の移動をGPSで把握し、帰宅したことを確認した。
 GPSを使って患者が薬を自宅に持ち帰るまでを確認した実証実験は全国初。

【R4.10～11月実施】
 「日本エヌ・ユー・エス(東京)」と「ライセン(松山)」が、今治市の波方地区と大三島地区(島しょ部)をドローンで結ぶ物流の実証実験を実施
 長距離飛行に対応しつつ積載量を最大化させるため独自に改良したドローンを使用し、物流経路の開発による島民の負担低減の可能性を探ることが目的
 今回は、1kgの荷物を積載して、波方港から大三島のイナズミキャンプ場までの片道8kmを、無人地帯における補助者なし目視外飛行(LEVEL3)で飛行。大三島で荷物を降ろして往復16kmの飛行実験に成功した。

点検・メンテナンス



【R4.10～11月実施】

今治市の港湾施設内にある「ガントリークレーン」や「棧橋」の点検へのドローンの活用を検証

ドローンを使用することによりクレーン上部の高所や、棧橋床版の下側からの点検が可能

警備・監視



測量



【R4.11月実施】

今治市の農業用ダムで水上ドローンを活用した堆砂量を測量する実証実験を実施

これまでレベル測量やボートからの超音波などで作業を行ってきたが、ドローンの活用による測量作業の効率化やデータの精度を検証

【R4.11～R5.2月実施】

今治市の港湾施設の監視、警備をドローンで行う実証実験を実施

全天候型の自動航行ドローンを用いて、富田新港の防舷材破損状況を定期的に巡視し、船舶を係留する岸壁に設置されている防舷材(ゴム製)が船の接岸時に破損されていないかを定時チェックした。

ドローンが自動飛行により岸壁の防舷材の画像を決められた位置から取得し、人による巡視と比べた作業の効率性や撮影データの品質などを検証



「しまなみドローン+スマートアグリ」の開催

令和5年2月、今治地域での近未来技術の普及促進、実装を目的として、ドローンやスマートアグリに関する展示会、シンポジウムを開催
展示会には、全国から26社が出展、シンポジウムには愛媛県内及び四国各地から100人以上が参加し、イベント全体で一日に1,200人以上が来場

<https://www.youtube.com/watch?v=M15tsX9scmw>

子ども向けのドローン操縦体験や水中ドローン操縦体験などの催しも取り入れ、一般の方にも近未来技術を身近に体験してもらうことができるイベントとして実施



「今治クリテリウム」「サイクリングしまなみ」会場への出展



○令和4年10月に開催された「今治クリテリウム2022」及び「サイクリングしまなみ2022」の会場で、株式会社SkyDriveの機体「SD-03」の模型展示や有志団体Dream Onの提供によるVR体験を実施



今治近未来セミナー「未来のエアモビリティ 空飛ぶクルマを学ぼう」



○令和5年3月、実証飛行を前に市内の民間事業者や一般市民へ空飛ぶクルマへの理解を深めてもらうため勉強会を実施

○講師に、日本政策投資銀行の岩本学氏を招き、民間事業者向けと一般市民向けに分けて開催。地元企業の社長ら合計約100人が受講し、予定時刻を超えて質疑応答が続くなど、空飛ぶクルマへの高い関心がうかがえた。

アメリカ LIFT AIRCRAFT社製「HEXA」実証飛行



空飛ぶクルマが実際に飛行することで、安全性や地域への効果に対する市民の理解を深めるとともに、実用化に向けた機運醸成を図ることを目的に実施

【日時】 令和5年3月21日(火・祝) 10:00~17:00

【場所】 上浦多々羅スポーツ公園

【内容】 ①HEXA実証飛行

②HEXA機体見学、記念撮影

③HEXA VRシミュレーター体験

④(株)長大展示ブース(離着陸場模型展示、VR体験など)

⑤ドローン操縦体験会

⑥水中ドローン操縦体験会

⑦空飛ぶクルマ親子ワークショップ(小学校中高学年)



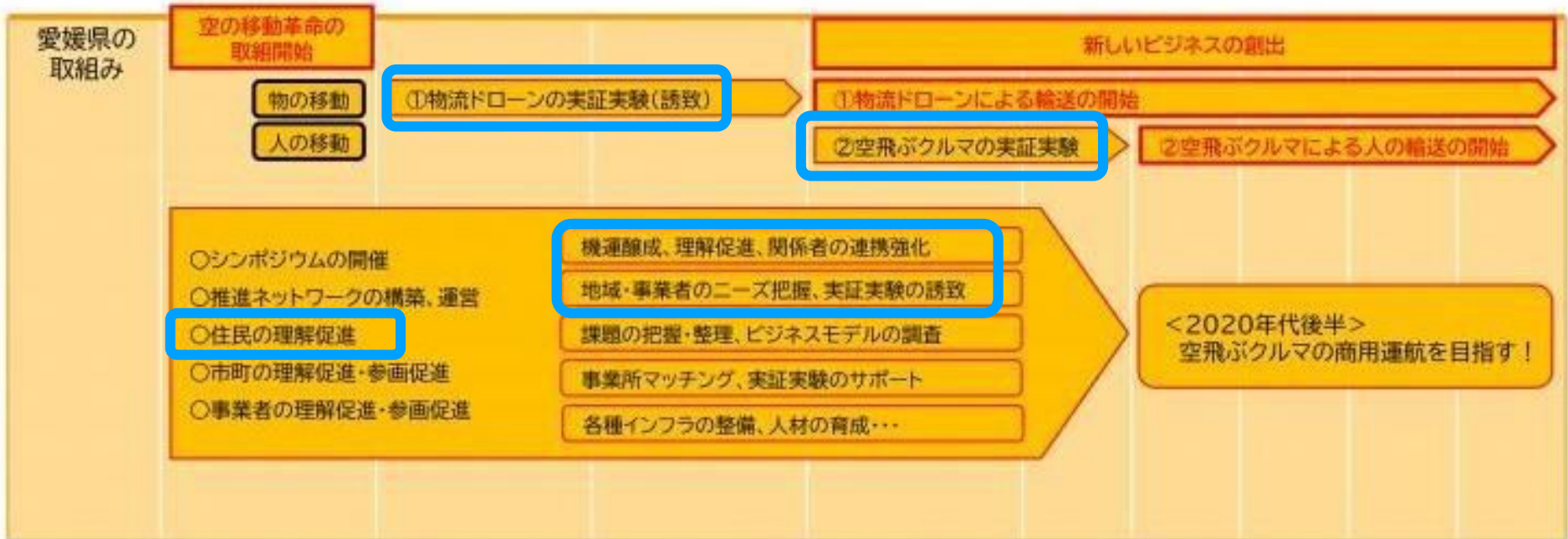
●グライダー機体見学・撮影会 ●VR体験 ●展示ブース
●ドローン操縦体験 ●空飛ぶクルマワークショップ

3/21
10:00-17:00
●上浦多々羅スポーツ公園



主催：今治市 共催：上浦多々羅実行委員会
後援：株式会社長大 実行委員会 株式会社長大

	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)~	
海外の動き		海外企業が機体認証取得		欧米大都市で旅客輸送サービス開始		各国で実装が進展				
日本の動き	試験飛行・実証実験等 法制度整備、離着陸場整備、技術開発、社会受容性向上等				大阪・関西万博で商業サービス開始	都市・地方における商用運航・サービスエリア拡大				



ご清聴ありがとうございました。

国家戦略特区、近未来技術実証ワンストップセンター、
ドローン、空飛ぶクルマ関連のお問い合わせは、
下記までお願いいたします。



今治市役所総合政策部市民が真ん中課

魅力都市創生室国家戦略特区係 担当 藤岡 洋

TEL 0898-36-1503(課直通)

メール simingamannaka@imabari-city.jp

名刺 https://8card.net/virtual_cards/0h-INBo5wD9wIYTiWaxFHA

